

■環境省「水辺の環境活動プラットフォーム」・八王子市立由木西小学校コラボ事業「ガサガサによる川の生きもの調査体験授業」参加レポート

【概要】

10/6(火)に八王子市立由木西小学校で小学 3・4 年生の児童を対象とした「ガサガサによる川の生きもの調査体験授業」が開催されました。午前中は堀之内番場公園横の親水エリアで川の生きもの調査を体験し、午後から捕った生きもの観察を小学校の校舎内で実施されました。

【ガサガサの様子】

川で生きもの調査をしたことがない先生や児童と共に、たも網とバケツを持って川に入りました。最初は小さな水生生物を怖がっていた児童も、次第に楽しくなって、夢中で生きものを探していました。終わりの時間が近づいても「まだ出たくない!」、「もっと生きものを探したい!」などの感想をいただきました。



【生きもの観察の様子】

午後からは、つかまえた生きものを小学校に持ち帰り、ガサガサを実施した班ごとに生きものの仕分けと分類を行いました。児童だけでなく、先生も夢中になって、つかまえた生きものの種類や特徴について生きもの専門家から教えてもらいました。また、つかまえた魚は教室で飼育して、児童たちの興味はさらに深まったようです。さらに、後日事後学習を行い、楽しいだけでは終わらずに、地域の自然環境を守ることの大切さや、水と生きものつながりについて学びました。



各主体からの感想

- ★川の中にこんなにたくさんの生きものがあるなんて驚いた!(児童)
- ★川遊びをさせたいと思っていたが、やり方がわからず、授業できっかけを作ってもらえてよかった(保護者)
- ★専門家のアドバイスにより、教科書だけでは得られない観察の視点が身についた(先生)